

当社のベトナム進出 ～出会いから現在まで～

姫建機材株
代表取締役
井上 学



姫建機材株式会社は、

兵庫県地区で営業を行なう仮設機材レンタル会社である。2005年にベトナム、ホーチミン市にCBS Vietnam Co.,Ltd. を設立した。現在、日本市場向けに建設設計・機械設計・BIM作成支援・及びコンサルティングを、ベトナム市場向けには建築設計施工・機械設計と、ホーチミン市工科大学の協力の元、建築デザイン・CAD・BIMを教える専門学校を運営している。ベトナム社員は130名を超え、専門学校からは毎年400人の卒業生を送り出している。

1973	2005	2009	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022
仮設機材	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業	建設資材レンタル事業
建設設計	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D	建設設計 2D
ベトナム建築設計施工	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM	ベトナム向け建築 BIM
機械設計	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D	日本向け機械設計 2D
専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校	建設・インテリデザイン専門学校
日系企業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援	日系建設業ベトナムインフラ事業支援

図-1 当社の事業展開

ベトナムとの関わりは、

2001年、私の住む神戸の友人であるベトナム人に誘われ、数人で観光旅行に出かけたところから始まる。

ベトナムに向かう飛行機の中で、友人の一人が、ベトナムで車椅子が不足しているとの記事を見つけた。ベトナムといえば、ベトナム戦争の影響で障害者が多いとは耳にしていたので、観光だけではなく、こういった障害者の施設も訪問してみよう、ということになった。その中に、障害児十数名が、二台のミシンで人形を作り、それを売って共同生活をしている田んぼの中の見窄らしい小屋があった。耳が聞こえない子、目が見えない子、片手片足が無い子・・・

「日本のおじさん達がもっと良い家を作ってあげよう」、と子供達と約束してしまい、当時、海外との仕事をしていた私が実行役に任命された。

小屋を立て直したら良い、と気軽に考えていたのだが、農地を理由に立て直せないことがわかり、場所探しから始めないといけない。以来、頻りにベトナムに通うことになってしまった。当時はまだ日本企業も日本人も少なかったので珍しさもあったのだろう、ネット新聞に掲載され、若い役人、企業経営者、NGOまでが加わり、応援してくれるベトナム人の輪が広がった。ようやく人民委員会から土地の提供があり、建設会社との契約、完成後の運営契約など、見知らぬ地で色々な経験を積むことができた。今では、国内外の篤志家や企業、行政の支援もあり、ホーチミン市ホクモン区に「障害児のための職業訓練センター」として、150名ほどの障害児達が、木工細工・ドライフラワー・刺繍・彫金・絵画などなど、自立のための訓練を行っている大施設になっている。



写真-1 ホーチミン市孤児と障害者の職業訓練センター

日本の仮設機材レンタル業界では、

不況に陥りつつある建設産業の中で、合理化の動きを加速していた。

仮設レンタル業界では、レンタルに合わせて仮設計画図を元請建設会社に提供することが多い。そのため、多くのレンタル会社はCAD技術者を抱えている。しかし、社内需要を賄うだけの少人数であるが故に、人材育成やノウハウの蓄積という面で課題を抱えていた。

ある時、関西の同業5社の会合で、各社のCADを一箇所に集めて規模を大きくしよう、との提案が即決された。前職がメーカーの技術者で、CADの知識もあった私に任せられる事になった。

CAD図面作成のコストは、大半を人件費が占めるため、これを削減する方法を考えねばならない。ベトナムでの活動を応援してくれていた役人の一人に、CAD提携先はないかと尋ねたところ、その場で、一つの設計会社に連れて行かれた。外注委託先と考えていたのだが、相手の社長は大乗り気で、いつの間にか合弁会社を作る事になってしまった。当時のベトナムでは、日本企業と合弁できるというのは画期的な事であったようだ。まだ、現在のようなコンサルティング会社も無く、企業法・投資法も整備されず、日越合弁設計会社の設立は非常に難しいはずだったが、役人の後押しであるから、いつの間にかできてしまった。当然、合弁設立後は、経営方針・会計処理などなど、様々な問題が発生したが、その度に、ベトナムの友人達が仲裁に入ったり、相談に乗ってくれたりして乗り越えることができた。新しい企業法・投資法が施行された段階で、100%日本資本に変更し、現在に至っている。



写真-2 ベトナム設計室



写真-3 専門学校(卒業式と日本人建築家の特別授業)

会社運営

設立当初から、日本人は組織上には置かない方針をとった。社長も部長も課長も全員ベトナム人である。ベトナムに限らず企業経営にはコミュニケーションは極めて重要である。意見の吸い上げ、運営上の気付き、アイデアの発展など、ベトナム語が分からない日本人が中核にいただけで障害になる。通訳を介してスムーズなコミュニケーションなど行えないと考えたからだ。

事業運営をベトナム人に任せても、日本人には、企業の顔としての役割がある。

ビジネスを行うには従業員や取引先・関係先との信頼関係の醸成は欠かせない。とかく日系企業の管理職は実務に多忙を極めているが、ビジネスを超えた人と人の繋がりを作り、ベトナム社会に入り込む行動を増やすことも大切だろう。社内においても、日系企業で働いているという社員達のプライドをくすぐり、バックに力強い日本企業があるという安心感と期待感を抱かせる役割が重要だ。

そうすれば、様々な場面でベトナム人ネットワークが力になってくれるし、逆に相談に乗ってあげることも多くなる。現地で発生する課題の多くは、我々が日本人であり、日本企業である事に起因する。当社ではベトナムで良く聞く金銭に関わる問題は無縁である。ジョブホッピングも多くない。

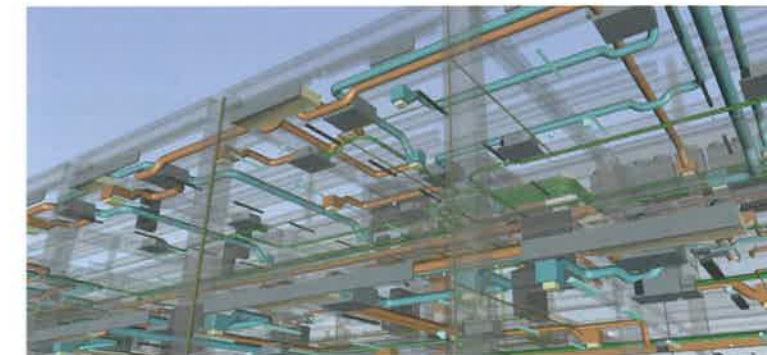


図-2 設備BIM



図-3 足場BIM

ホーチミン市工科大学を始めとした大学、多くのローカル企業、更には当社専門学校の教師陣(大学教師・建築士など20数名)、3000人を超える当社専門学校卒業生など、当社のローカルネットワークは強力だ。これらを大切に、共同してベトナム社会に貢献できるビジネス展開を心がけている。



写真-4 ベトナム技術スタッフ

ベトナムでの事業展開 姫建機材株式会社 / CBSグループ

ーコンサルティング・サポート・技術者養成などー

■ 事業内容 (日本、ベトナム)

1. 建設機材レンタル(日本国内のみ)

兵庫県地区で建設仮設機材のレンタルを営み、創業45年を迎える。地場ゼネコンを中心にサービスを展開し、現場の要求に応じたオリジナル機材の開発、携帯電話を活用した機材の発注アプリの開発など、現場の業務効率化と安全性を第一に新たな取り組みを行っている。

2. コンサルティング・リエゾン

ベトナム進出・ベトナムビジネス・ベトナム人技術者採用などに関するコンサルティングやサポートを行うリエゾン業務を行っている。特にホーチミン市工科大学内で毎年開催されるキャリアフェアに日本企業の誘致を始めて7年になる。数千人の学生が来場して日本企業とのマッチングを図っている。



ホーチミン工科大学内でのキャリアフェア

3. 機械設計

3Dを中心に、タービン、焼却炉などMHIグループ、MHPSグループ、KOBELCOグループ等からの大型機械装置やプラントを主とするが、より幅広い分野の設計を目指している。使用ソフトは、AutoCAD・Inventor・Creo・iCADなどである。特に、Inventorでは、3Dパーツを組み合わせる一般的手法(ボトムアップ)の欠点を無くすため、全体スケルトンを設計(トップダウン)してからパーツを組み合わせるハイブリッド方式を取り入れ、修正や応用が効く設計データを提供している。



ガスタービンと焼却炉

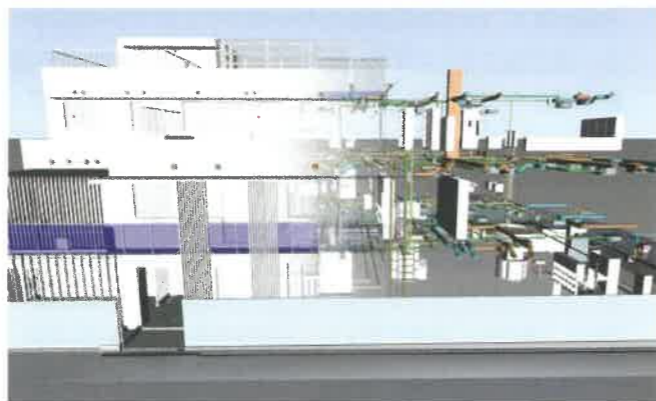
4. 建設設計・BIM

日本向け建設施工図等の設計業務を行っている。特にBIMでは、意匠-構造-設備まで一貫したBIMモデルを作成し、企画-詳細設計-施工-現場管理-維持管理の各段階に有用な情報を提供できる。

これらは、日本のCラボ、ベトナムのCBSベトナムとホーチミン工科大学BIMラボとのクラウドを用いた連携で実現する。合わせて、グループ内機械設計部との連携を図り、今までにない機械設備も含めたワンストップの3Dモデルも提供する。

AutoCAD・3dsMax・Revit・ArchiCad・Tfas・Lumionなどを使用している。

BIMラボとの連携では、BIM人材育成、アプリケーションの共同開発も行う。



施工前段階で問題点を抽出・検討する為のBIMモデル

5. ベトナム国内設計施工

CBS専門学校から、3000人を超える卒業生をベトナム建設業界に輩出していることから、CBSの知名度は高く、このブランド力を活かし、ベトナム国内向けの設計と施工を行っている。

設計では、日本の建築家と協力関係を築き、エコやバリアフリーといった日本技術・日本の新建材・日本の洗練されたデザインを強みとして展開している。

施工分野では、ローカルのガラス・タイル・鉄骨…の専門工事会社の協力を仰ぎ、日本の品質管理や安全管理を指導しながら「魅せる現場」の実現を目指している。昨年度は26のプロジェクトを実施した。



バクニン市ホテル・結婚式場とホーチナムリゾート



幼稚園建設現場 (ホーチミン市)

6. 建設専門学校

ホーチミン工科大学と共同で、建築教育センター(CBS専門学校)を運営している。

ホーチミン市工科大学は教室と設備・CADソフトウェアを提供し、当社はカリキュラムの作成・教師陣の手配・学生の募集・学生サポートなど運営全般を担当している。

卒業証書は、技術系トップ大学である工科大学から授与されるため、卒業生にとって高いステータスになっている。

APEC(アジア太平洋経済協力)人材養成事業にも選ばれ、現在、学生から社会人まで、19クラス約470人が在籍している。卒業生は3000人を超え、ホーチミン市を中心としたベトナム南部地域の建設会社、設計会社に就職している。

最近では、ホーチミン市工科大学BIMラボとの協業で、BIMトレーニングコースを設け、特に建設関連企業の社員向けとして好評である。



BIMトレーニングクラス

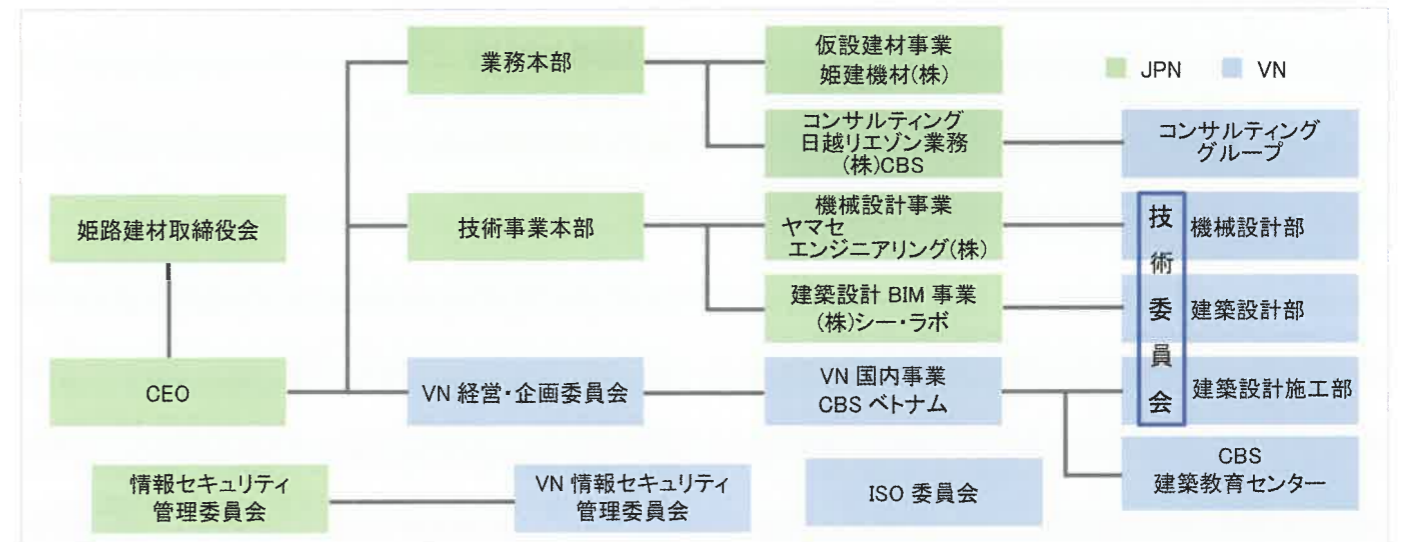
■ 体制と情報セキュリティ管理

姫建機材を中心として、事業分野ごとの専門法人を設けたグループ体制をとっている。各法人は、グループ内事業部としての位置付けで連携を図り、一体となってプロジェクトに当たっている。

MHIグループをはじめ、高機密な客先データをベトナムでお預かりする為、情報セキュリティ管理規程・管理マニュアルを整備し、厳格に管理している。毎年、MHPSグループによるセキュリティ監査も受けている。

情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティ管理規程に基づいた管理	管理委員会
ネットワーク	MHPS Gr.による定期監査	緊急体制 専任の管理者
サーバー	外部ネットワークとの接続制限 停電対応装置+自家発電機 バックアップ ファイアーウォール	ネット接続者の限定 ネット接続PCの限定 アクセスログ ファイルアクセス制限 暗号化と削除処理
エンドポイント	各PCの緊結 マルウェア対策 外部ストレージの接続制限	管理者による パスワード定期変更 ダウンロード制限
ファシリティ	24時間有人警備 入室制限 建物全体の侵入防止措置 サーバー室とサーバーロッカー	カメラ等の持ち込み制限 入室許可と入室履歴

情報セキュリティマネジメント



組織体制図



CBSグループ

URL: <http://www.kk-cbs.co.jp>

Mail: info@kk-cbs.co.jp

